

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(/ /)
授業科目名：入門ゼミⅠ 英語表記：Freshman SeminarⅠ ナンバリング：1001		単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：瀬戸奏、 山田耕平 担当形態：クラス分け
科 目／系 列		／	
施行規則に定める科目区分 または事項等／教科目		／	
【授業の到達目標及びテーマ】 1. 建学の精神「気品」「知性」「奉仕」を理解し、具体的な行動指針を意識して学習と生活に活かすことができる。 2. 人間として保育者として必要となる教養を身につける。 3. 学習の基礎・基本、そして大学での学び方を知り、実践できる。			
【授業の概要】 本学における2年間の生活と学びの基礎として、建学の精神の理解や学習の基礎と基本を学ぶ。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			○
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			○
【授業計画】 第1回：オリエンテーション・大学で学ぶ意義 第2回：情報モラルとメディア・リテラシー 第3回：図書館の利用方法・文献の読み方 第4回：行事の企画と運営 第5回：信頼される保育者を目指して 第6回：よりよい人間関係の構築について考える 第7回：自己分析（どんな自分になりたいか） 第8回：学外研修①（マナーを身につける） 第9回：学外研修②（保育者としてのホスピタリティを学ぶ） 第10回：安全と健康について 第11回：金融教育について（お金と経済の仕組みを学ぶ） 第12回：教養としての日本文化① 第13回：教養としての日本文化② 第14回：学びの技術を知る 第15回：これまでの学びを通して自己課題と行動指針を考える 定期試験：なし		【授業時間外の学習】 授業ごとに予習・復習、課題に取り組むこと（1時間） ※保育者の教養として必要となる漢字のテストを実施するため事前に勉強を行うこと。	

【授業の方法】 講義とディスカッション、発表。発表や提出物に対し、それぞれの気づきを共有できるよう教員がコメントする。	
【テキスト】 特に指定しない。適宜プリント等を配布する。	
【参考書・参考資料等】 課題に関する資料をプリント等で配布する。	
【学生に対する評価】 課題・提出物（50％）、発表内容・授業参画度・学びの成果（50％）などを総合的に評価する。	
【履修上の注意】 社会人としてのマナーを身につけるため、毎回の授業はスーツで参加すること。 授業内で実習に必要な漢字テストを行うのでしっかりと予習をすること。 真摯な態度で授業に臨むこと。	
実務経験の有無：無	実務経験：
【実務経験を生かした教育内容】	